

ADL および認知機能の経時的変化に関する研究

1. 研究の対象

2010年1月1日から2023年8月31日までに、大阪大学医学部附属病院において入院歴のある18歳以上の方

2. 研究目的・方法

人は年齢を重ねるとともに日常生活動作(ADL とよびます)や認知機能が徐々に低下しますが、大きな個人差があることも知られています。この研究では、これまでに診療データを用いて日常生活動作や認知機能の変遷を調べることを目的とします。各種のご病気や治療がこうした変遷と関係するのかどうかについても検討します。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2028年3月31日

利用又は提供を開始する予定日：2023年9月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では、電子カルテおよび付随するシステムから、DPC データ、レセプトデータ、病名、病歴、処置・治療歴、年齢、性別、身長、体重、生理検査や画像検査、採血などの検査結果等を用います。あなたの情報・データ等は、解析する前にカルテ ID・氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにしたのち、研究に利用させていただきます。対応表は、研究責任者が厳重に保管・管理します。

4. 外部への試料・情報の提供

外部に情報や試料を提供する予定はありません。

5. 研究組織（利用する者の範囲）

大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 吹田市山田丘 2-15

大阪大学医学部附属病院医療情報部 特任助教（常勤） 小西正三

TEL 06-6879-5900

研究責任者：大阪大学医学部附属病院医療情報部 特任助教（常勤） 小西正三
研究代表者：大阪大学医学部附属病院医療情報部 特任助教（常勤） 小西正三